

ワ ル ツ

今日のワルツも、往年社交ダンスの寵兒であつた舊ワルツの法則に基いて居りますが、異つた點も多數あります。實例を挙げれば、舊ワルツは爪先で踊りました。従つて其の疲勞は甚だしかつたのであります。今日のワルツは兩足のボールで踊るのですからバランスを取るにも平易ですし又疲勞も殆ど感じません。

又舊ワルツのターンはグル／＼廻りを續ける側動でありましたが今日のワルツは進行式でありますから舊式のワルツの様に單調でありません。又暈眩を催し易い人は舊式のワルツは踊れなかつたのですが、今日のワルツには此の憂が無いから老幼何人にも適當します

ので今日の非常な流行を得て得る理であります。

樂曲は四分の三拍子でありまして、一分間四十一乃至四十四小節のテンポで奏されるのが普通です。リズムは一步一拍でありまして每三步の中で第一步目にアクセントがあります。

ターンは皆シャッセ・ターンでして、オープン・ターンは致しません。而して其の基本的ステップは次の三種類であります。

- 一、ナチュラル・ターン（右廻轉）
- 二、レバリス・ターン（左廻轉）
- 三、リンク・ステップ

然し此外舊ボストンのステップを基礎とした數多のステップがあります。